

農業技術 リズム

ビワ「なつたより」は県農林技術開発センターが育成した品種で、果実重は約60gと大きく、果汁が多くて柔らかく糖度も高い、とてもおいしいビワです。県産の露地ビワ出荷開始は5月上旬からですが、成熟間際の気象条件により、年によって収穫時期が前後します。しかし「なつたより」の販売戦略を構築するためには、正確な出荷情報を消費地へ伝える必要があります。

そこで、産地で行われている花房調査を基に、収穫盛期の予測ができないか検討しました。

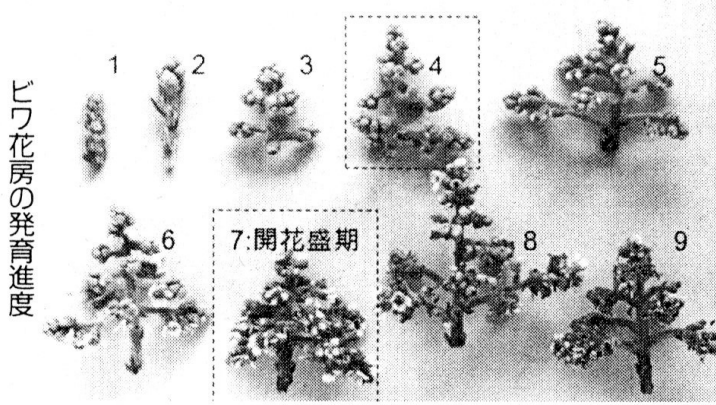
花房進度4のときから約1ヵ月後に開花盛期となりました(写真)。開花から収穫日までの1時間ごとの実測温度から

ビワ「なつたより」収穫期の予測 花房調査を基に計算 販売戦略強化へ一役

7・2度を引いた値(7・2度以下は0度とする)を足している、その合計が2万度に達したときを収穫予測日とすると、実際の収穫盛期との誤差が小さく

なることが分かりました。計画出荷されたおいしい「なつたより」が初夏の一押し商材となるよう、この予測法を消費地との情報共有にご活用ください。

(県農林技術開発センター果樹・茶研究部門ビワ・落葉果樹研究室主任研究員 河原幹子)



ビワ花房の発育進度